

聖書翻訳比較の散歩道

将来と希望

涙の預言者と呼ばれるエレミヤが、今もなお、人々に「将来と希望」を与え続けている、BHS 29章11節のLXXの翻訳(36:11)には、果たして、BHSとLXXとの間で、違いがあるのでしょうか？

~kyl[ɛ] bvxo ykiŋa' rva] tbw'x]Mh;-ta, yTi[dy" ykiŋa' yki
あなた方に対して 考えている 私は 関代 その計画 を 知っている 私は 確かに
hwqti>tyrkja; ~k,l' ttd' h[r'l. alw~Al v' tAbvxi; hwŋy>~aŋ
希望 と 将来 あなた方に 与える 災い でなく 平和 計画 主の御告げ

[口語訳] 主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

[新改訳] わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。 主の御告げ。それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

[新共同] わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

[関根正雄訳] なぜならわたしは君たちのために考えている計画を自分でよく知っているからである、 - とヤハヴIは言われる - それは幸いの計画であって、災いを下そうとするものではない。君たちに将来と希望を与えるためにこれを言う。

[岩波訳] まことに、このわたしはわたし自身、あなたたちに立てた諸々の計画を、知悉しているからだ- ヤハウエの御告げ -。災いではなく、平和の計画。それは、あなたたちに未来と希望を与える。

どの聖書邦訳も原文にある「将来と希望」を訳出している。BHSのJer 29章は、LXXの36章にあたる。そのテキストと英語直訳を見てみよう。

LXX Jer 36:11

kai. logioumai efV umaj logismon eirrhnhj kai. ouwkaka. tou/douhai umih tauta

LXE Jer 29:11

And I will devise for you a device of peace, and not evil, to bestow upon you these [good things].

LXXの場合、「主の御告げ」を訳出しない。「わたしがわたし自身で良く知っている」を訳出しない。「将来と希望」の代わりに、代名詞(中性複数対格:LXEは、敷衍を施し、you these [good things]と訳している)を使っている。以下は、BHSのJer 29:11のテキストと本文批評欄をキャプチャーした画像である。

כִּי אֲנֹכִי יָדַעְתִּי אֶת־הַמְחַשְׁבֹת אֲשֶׁר אֲנֹכִי חָשַׁב עֲלֵיכֶם
נֶאֱמַרְתֶּנּוּ מִחֲשָׁבוֹת שְׁלוֹם וְלֹא לְרָעָה לְתַת לָכֶם אַחֲרַיִת וְתִקְוָה׃

11 ^{a-a} > ⑥* (hamtel) || ^{b-b} ⑥* ταῦτα, ⑥^{OL} τὰ μετὰ ταῦτα ||

BHSの編者は、先に述べた ⑥ のことを既に、記載している。

<コメント>

何故、 ⑥ をLXXのエレミヤ書翻訳担当者は、訳出しなかったのであろうか？

⑥ は、神の預言のことばに対する信仰に関わる文である。また、 ⑥ は、神がイスラエルの民族のことを熱情をもって考えているという神の愛を体感させることばである。さらに、 ⑥ は、その神が、実際に何を与えて下さるのかを明らかに示すことばである。神のみことばへの信頼が薄い人物か、それとも、訳者の手にした本文には、そのことばが記されていないのか、あるいは、神のことば、あるいは、イスラエルの神への信頼を訳出してはならない外圧があったのだろうか・・・と思ひは巡る。それでは、LXXの失われた「将来と希望」を回復しようとする、LXXの写本はあるのかと、Rahlfsの本文批評欄を開いてみたが、コメントは記されていない。